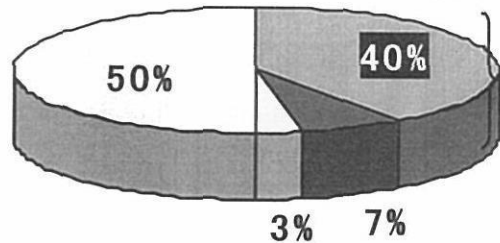


# 長期課程の就職状況

総合大卒進路概要(1964~2007)

民間企業就職内訳



■ 指導員就職 ■ 進学  
□ 公務員等就職 □ 企業就職

指導員就職内訳

1. 都道府県立能開施設 9.5%
2. 雇用・能力開発機構 28%
3. 認定職業訓練施設 (高障機構含む) 1%
4. 法務省 1.5%

ものづくり系企業へ就職 80%

大企業への就職者割合 ( 6割 ) : 中小企業への就職者割合 ( 4割 )

指導員就職先機関での総合大卒業生在籍状況

総指導員数: 2,593人  
(注)  
総合大卒数: 620人  
24%

総指導員数: 2,067人  
総合大卒数: 1,300人  
63%

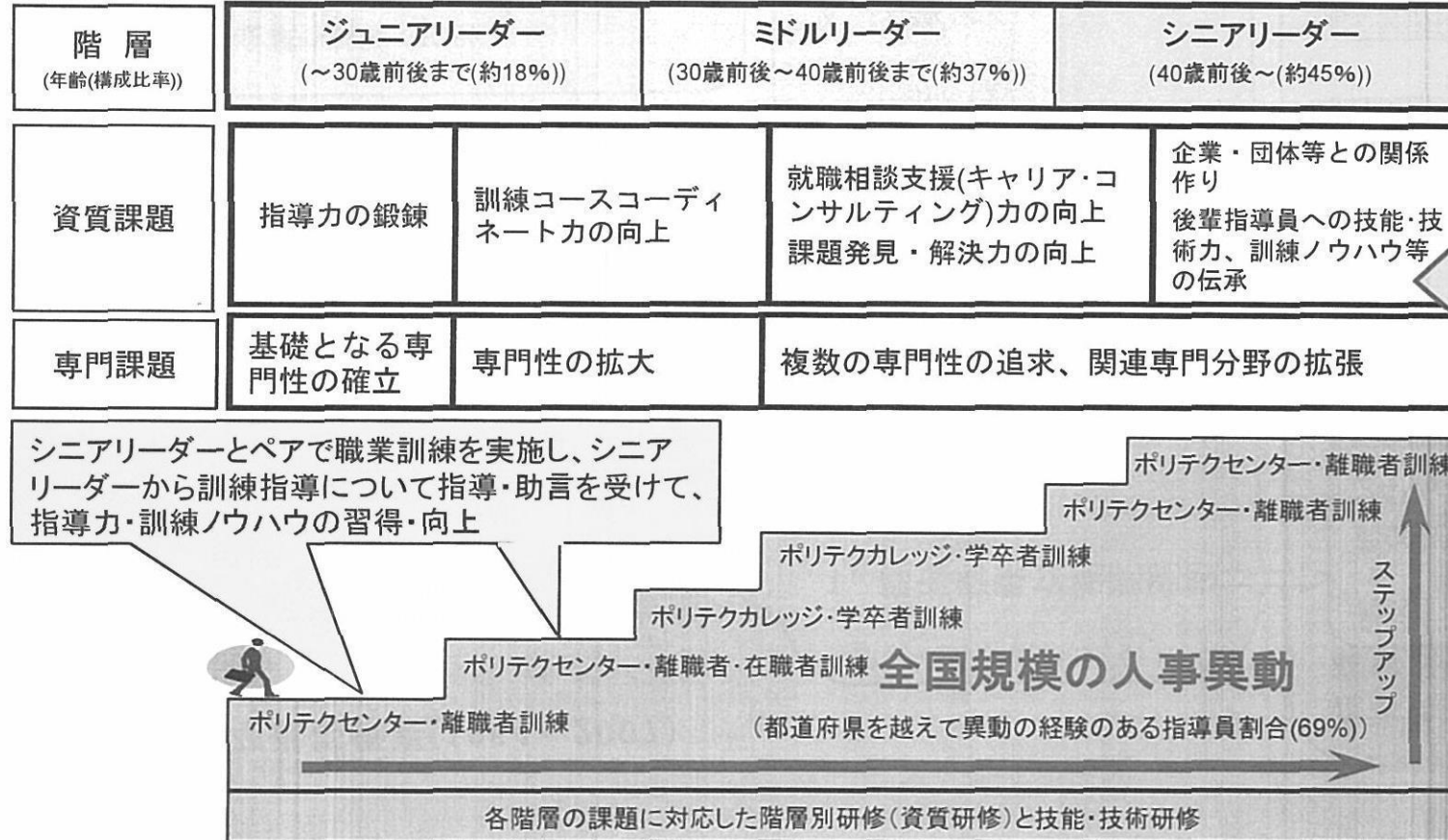
総指導員数: 不明  
総合大卒数: 約60人

総指導員数: 543人  
総合大卒数: 92人  
17%

(注) 「総指導員数」には、非ものづくり系分野を含む。  
認定施設は、民間企業における社員が指導員を兼務しているため総数が不明。

## 雇用・能力開発機構の訓練指導員のキャリアアップ

- ① 総合大で習得した技能・指導技法を基礎としつつ、シニアリーダー（ベテランの訓練指導員）とペアで職業訓練を実施し、シニアリーダーから訓練指導に関して指導・助言を受けることにより、訓練現場における指導力・訓練ノウハウの習得・向上が可能となる。
- ② 全国のポリテクセンター、ポリテクカレッジ等を異動することにより、複数のシニアリーダーから指導方法等について指導・助言を受けることにより、指導力・訓練ノウハウの高度化・広範化が可能となる。



若手指導員が年長指導員の指導のもとに訓練を実施、企業と一緒に訪問することにより、

- 技能・技術
- 指導のノウハウ
- 教材開発方法
- 安全指導法
- 訓練生への対処方法
- 事業主との対応方法
- 企業が求める人材ニーズの把握方法と、訓練コースへの反映方法 など

- 全国規模の人事異動により、地域ごとの特色ある訓練への対応能力の向上、専門性の幅と深さの拡大などのステップアップを促す指導員のキャリア形成
- 年度末に作成するキャリアシート(指導・相談支援等の実績)をもとにした管理者面談による実績確認・目標設定